

## SCCJ東京支部 第25回・第26回「研究会」のご案内

本研究会は若手化粧品技術者を対象に、化粧品のモノ作りに関わるテーマを取り上げ、参加者と講師及び参加者同志で、お互いの意見交換・討論を通して技術向上と技術者間の交流を図っております。

化粧品技術者としての基本技術を身につけるべく、昨年のテーマ『基本に返って乳化技術を学ぶ』に引き続き、今年度はメインテーマを『分散技術の基本を学ぶ』として、主にメーキャップ化粧品製造技術の基礎について学んでいきたいと思っております。

今年度は第25回・第26回について同時にご案内・募集し、興味のある分野の回に応募頂きます。昨年の「研究会」募集の状況から、多数の応募申込が予想されますが、本会の趣旨をご理解頂き、参加者自身が意見交換・討論に参画いただけるよう、応募の際には必ず「意見交換したい内容」について記載頂きますようお願い致します。

本研究会は35歳未満の若手・中堅の方を対象にしておりますので、あらかじめご了承下さい(正会員の方は是非、若手の代理者を参加させていただきますようご案内申し上げます)

### 記

- 日時： 第25回； 9月29日(火) 13:30～17:35  
第26回； 11月25日(水) 13:30～17:35  
\*いずれも受付開始 13:00～
- 場所： 化成品会館3F会議室(港区六本木) 会場略図参照
- プログラム メインテーマ：“分散技術の基本を学ぶ”

#### <プログラム>

|                 | テーマ               | 講師(敬称略)      | 時間          |
|-----------------|-------------------|--------------|-------------|
| 第25回<br>(9/29)  | 開会の挨拶とガイダンス       | 学術部会B委員      | 13:30-13:35 |
|                 | 分散の基礎技術・理論        | 中林 治郎 (コーセー) | 13:35-14:35 |
|                 | 分散技術の応用①(パウダリーFD) | 西村 博睦 (ポーラ)  | 14:35-15:20 |
|                 | 分散技術の応用②(乳化FD)    | 青島 正佳 (花王)   | 15:20-16:05 |
|                 | グループ討論            |              | 16:20-17:35 |
| 第26回<br>(11/25) | 開会の挨拶とガイダンス       | 学術部会B委員      | 13:30-13:35 |
|                 | 分散の基礎技術・理論        | 中林 治郎 (コーセー) | 13:35-14:35 |
|                 | 分散技術の応用③(口紅)      | 半山 敦士 (カネボウ) | 14:35-15:20 |
|                 | 分散技術の応用④(マスカラ)    | 井手 信之 (資生堂)  | 15:20-16:05 |
|                 | グループ討論            |              | 16:20-17:35 |

\*グループ討論終了後、同会場にて交流会を行います(17:40～18:40)

(研究会の一環としての交流の場ですので、併せてご予約下さい)

<各テーマの講演概要>

|                 | テーマ(仮)<br>講師(敬称略)                  | 講演概要   |
|-----------------|------------------------------------|--|
| 第25回<br>(9/29)  | 分散の基礎技術・理論<br>中林治郎(コーセー)           | <p>顔料を用いる化粧品分野(主にメイクアップ製品)において、顔料分散は、非常に重要な技術です。</p> <p>顔料分散は、顔料を微細、均一に分散し、それを安定に保つ技術ですが、化粧品の場合、製剤が人間の皮膚に塗布されて機能が発揮されるため、化粧の仕上がり、使用感、化粧持ちなどを合わせて考慮しなければなりません。</p> <p>そこで、化粧品製剤化における顔料分散の基礎として、以下の内容でわかりやすくお話いたします。</p> <p>① いろいろな顔料と用途<br/>分類・形状と表面積・有機顔料</p> <p>② ぬれ、解砕、安定化<br/>②-1 ぬれ 表面張力<br/>②-2 解砕 顔料凝集体 分散(衝突力とせん断力)<br/>②-3 安定化 電气的反発 吸着層の立体障害<br/>水性分散体の特徴</p> <p>③ 分散機器の種類</p> <p>④ 分散性向上技術<br/>分散剤 樹脂吸着(酸と塩基) 顔料表面改質</p> <p>⑤ 研究事例</p> |
|                 | 分散技術の応用①<br>(パウダリーFD)<br>西村博睦(ポーラ) | 本講演では、パウダリーファンデーションを研究開発するにあたり、必要とされる基本的な知識と技術を説明する。その中でも特に、製品の品質(仕上り、感触、紫外線カット効果)を向上させるための分散技術の応用例を中心に紹介する。   |
|                 | 分散技術の応用②<br>(乳化FD)<br>青島正佳(花王)     | 着色顔料の分散は製剤の発色性、隠ぺい性や安定性、使用感などに大きく影響を及ぼす。<br>本講演では主に液状乳化ファンデーションにおける着色顔料の分散制御技術と粉体を応用した製剤化技術について紹介する。   |
| 第26回<br>(11/25) | 分散の基礎技術・理論<br>中林治郎(コーセー)           | 第25回(9/29)と同内容   |
|                 | 分散技術の応用③<br>(口紅)<br>半山敦士(カネボウ)     | 口紅の基本的な製剤化技術の解説を中心に、色材の分散に適した油剤や表面処理技術について文献などを基に紹介を行う。また、実際の製品の開発事例なども交え、油性製剤での分散について紹介を行う。   |
|                 | 分散技術の応用④<br>(マスカラ・他)<br>井手信之(資生堂)  | 分散技術が応用されている例としてポイントメーキャップ製品の中でマスカラを中心に取り上げ、モノ作りを行う製品開発者の視点から、マスカラ開発における基本的な技術や配慮する点など分かりやすく説明する。  |

#### 4. 申込方法とお願い

- 1) 別紙の「参加申込書」にて、事務局までFAXしてください。
- 2) 申込者対象
  - ・ 商品開発・研究・製造など実務に携わっている35歳未満の会員が対象です。
  - ・ 準会員の方は、ご本人は参加できますが、代理者はたてられません。
  - ・ 正会員の方で35歳未満の方は参加可能です、また代理者も可能です。
  - ・ 35歳以上の正会員の方は代理の方の参加が可能です。
- 3) 募集人員:第25回・第26回とも各50名
- 4) 参加費:3,000円 (当日徴収、領収書発行)
- 5) 申込締切日:9月15日(火)

ただし、定員になり次第締切り(先着申込順)とさせていただきますので、お早めに申込下さい。参加証は9月15日(火)迄に、折り返しFAXにてご連絡いたします。

\*定員になった場合はホームページ上でお知らせします、申込の際はご確認ください。

ホームページ: <http://www.sccj-ifsec.com/>

- ・ 申込は第25回・第26回のいずれかを選択下さい(重複の申込はできません)  
申込の際は、「研究会」の趣旨をご理解頂き、必ず「当日意見交換したい内容」について記載下さい (記載がない場合は、原則として参加をお断りさせていただきます)
- ・ お申込後に、ご都合が悪くなった場合は、早めに事務局までご連絡下さい。

「お問合せ先」 〒106-0032 東京都港区六本木5-18-17 化成品会館4F  
日本化粧品技術者会東京支部 事務局  
TEL:03-3586-0775 FAX:03-3586-0833  
E-mail:[toukagi@jade.dti.ne.jp](mailto:toukagi@jade.dti.ne.jp)

以上

《会場略図》(化成品会館3F 会議室) 会場は東京支部事務局の入居している会館です。



